



2021年度 決算説明資料

2022年5月

今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

(東証プライム市場:1939)

- I. 2021年度実績
- II. 2022年度業績予想
- III. 株主還元
- IV. トピックス

I. 2021年度実績

【事業環境】

- 首都圏・関西圏での再開発計画、地方の社会資本整備など、受注環境は比較的堅調に推移
- 資源価格の高騰やサプライチェーンの乱れに起因する資機材価格の値上がりや調達難といった事象が発生



【当社の取り組み】

- 戦略的な営業展開、原価管理の一層の強化

2. 損益計算書:連結

■ 前年度比「増収・増益」

- 売上高は、大型工事の進捗や子会社の業績が寄与し増収
- 利益は、増収に加え、売上利益率の向上などにより増益

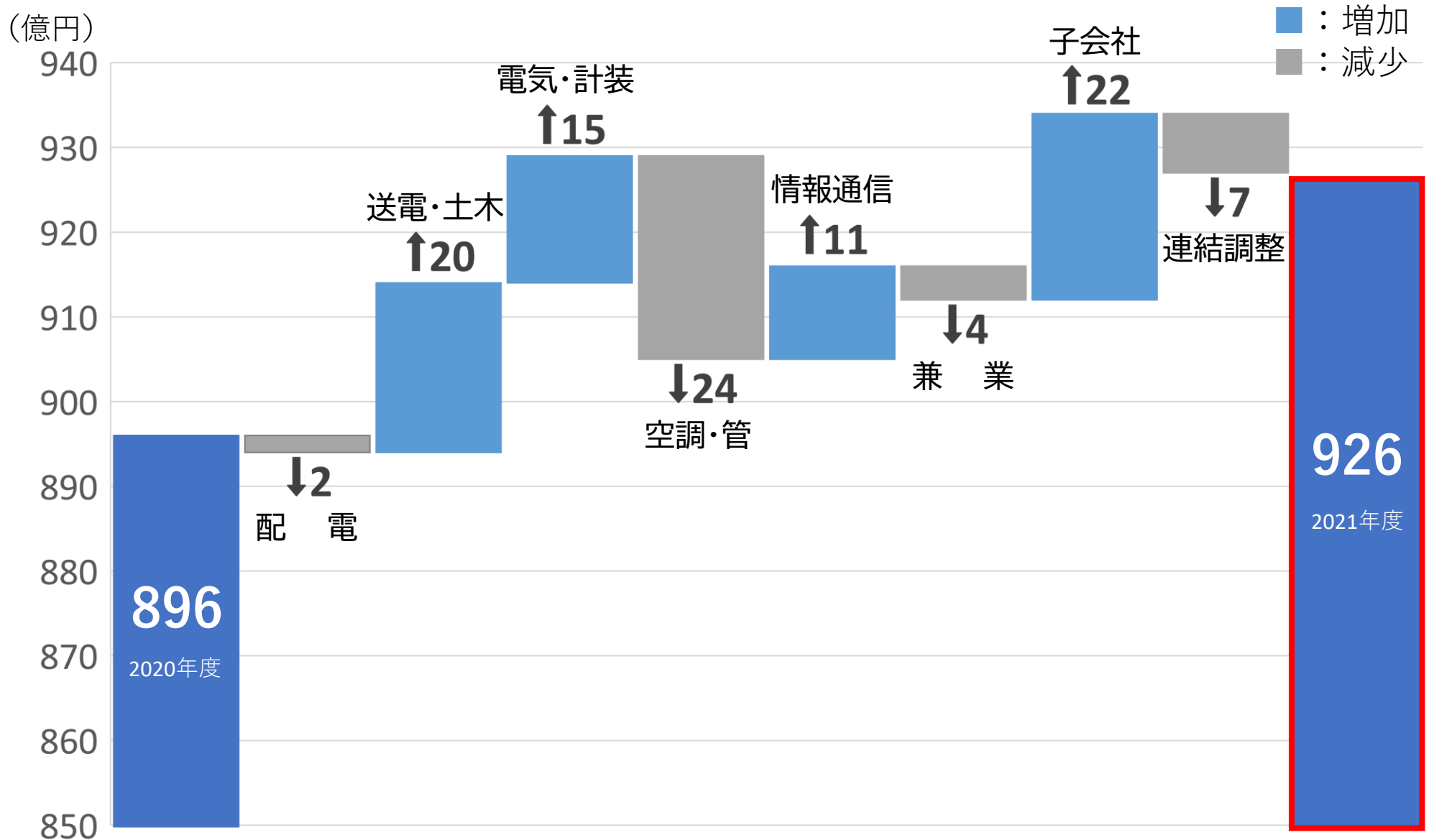
■ 5年連続増収、9年連続増益（純利益は2年連続増益）で過去最高業績

連結業績 (単位：億円)	2020年度	2021年度	前年度比	業績予想 (2022.3公表)
売上高	896	926	+30	920
営業利益	50	54	+3	55
経常利益	55	61	+5	60
親会社株主に帰属する 当期純利益	36	37	+1	38
1株当たり 当期純利益※	232.74円	240.53円	+7.79円	241.86円

※ 2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。そのため、比較の便宜上、1株当たり当期純利益は現在の株式数に換算した金額を記載しております。

3. 売上高増減内訳:連結

I. 2021年度実績

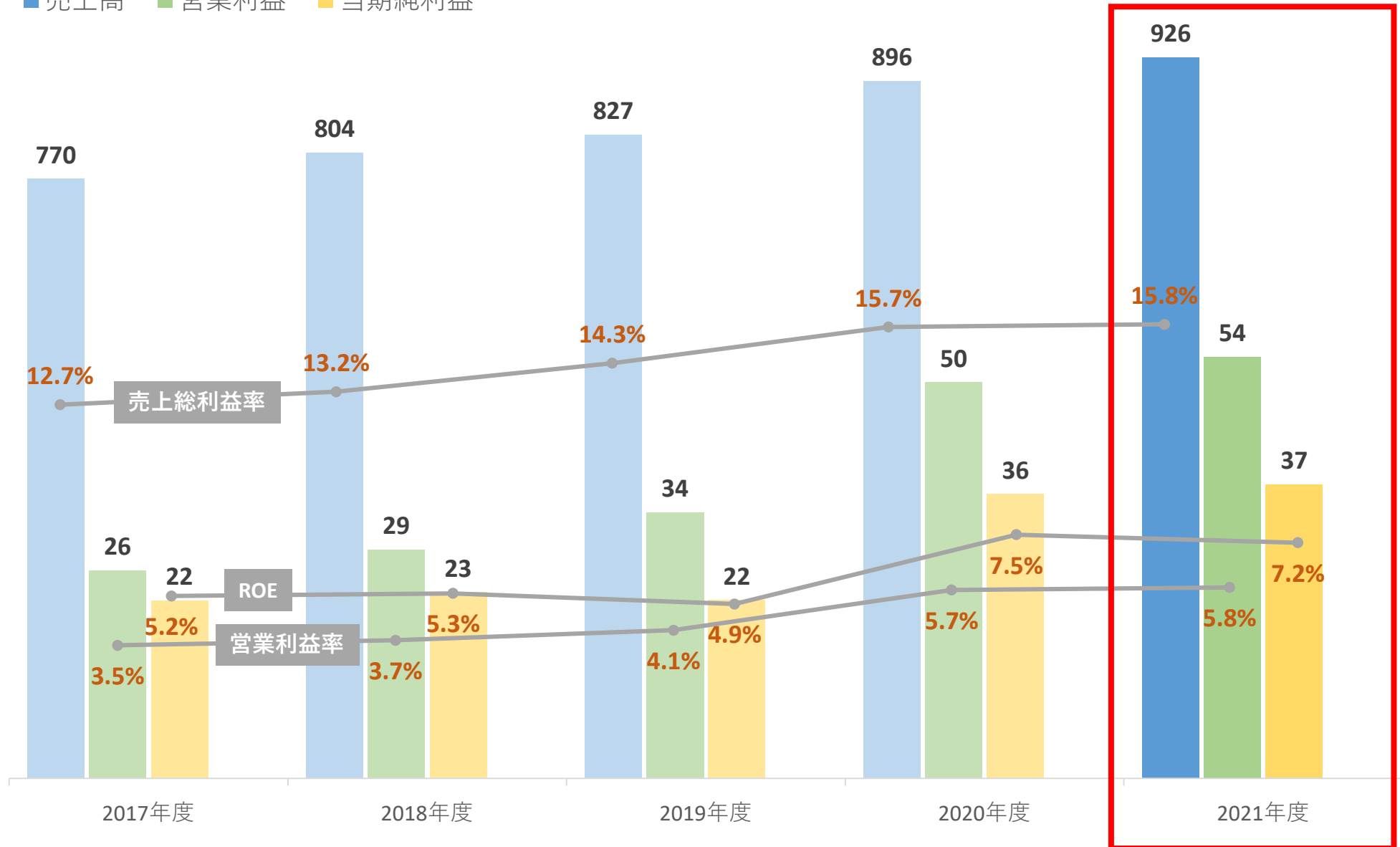


4. 主な経営指標の推移:連結

I. 2021年度実績

(億円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益



5. 施工物件情報

<主な完成物件>

地域	工事種別	工事件名
大 阪	電気	(仮称) 大阪市北区大淀南2丁目OM計画
和歌山	電気	湯浅御坊道路 広川南IC～みなべIC間トンネル照明設備工事
香 川	情報通信	西日本高速道路(株) 四国支社管内 明かり部CCTV設備工事
愛 媛	電気、空調・管	愛光学園キャンパス整備計画(新校舎)工事
徳 島	電気、空調・管	医療法人清和会 協立病院新築工事
愛 媛	電気	松山三越電気設備工事

愛光学園キャンパス



協立病院

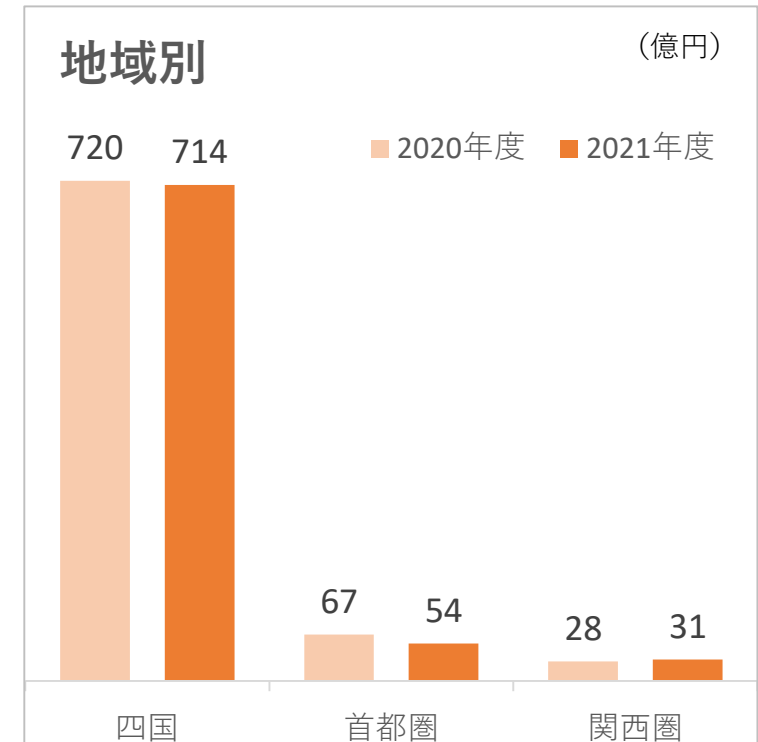
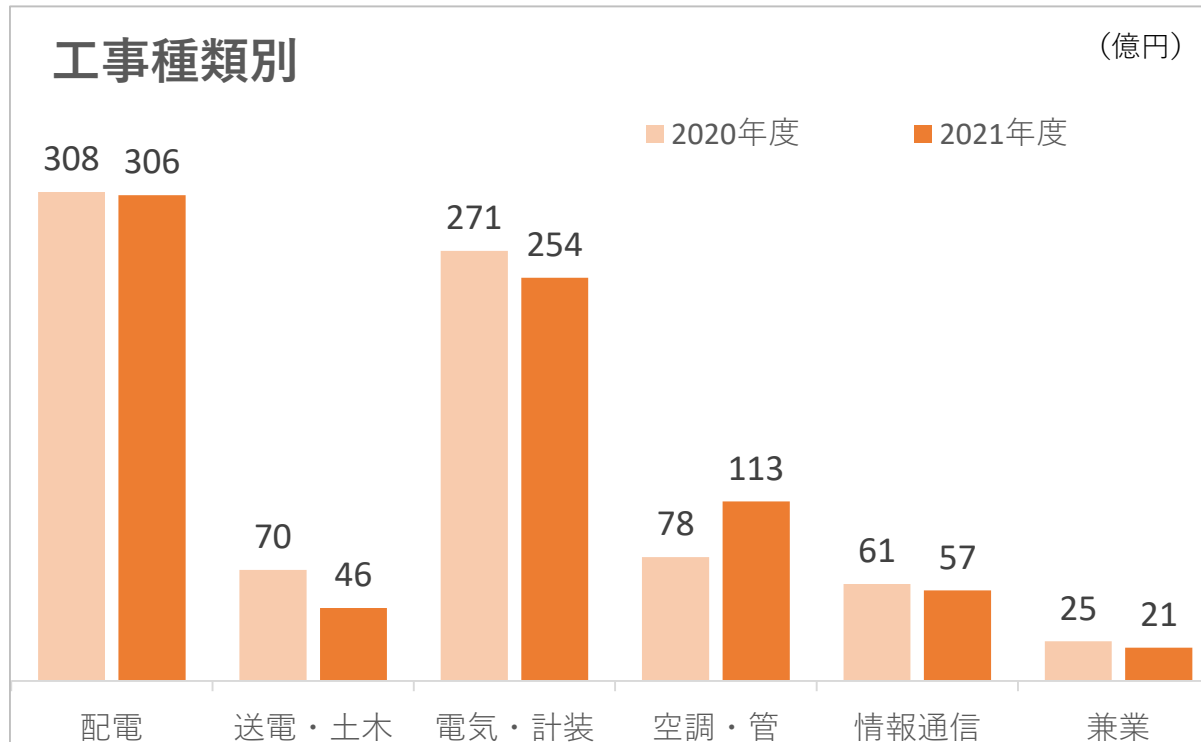


6. 工事種別・地域別 受注の状況:単独

I. 2021年度実績

■ 受注高は、800億円であり、前年度比▲16億円減。

単独業績 (単位：億円)	2020年度	2021年度	前年度比
受注高	816	800	▲16

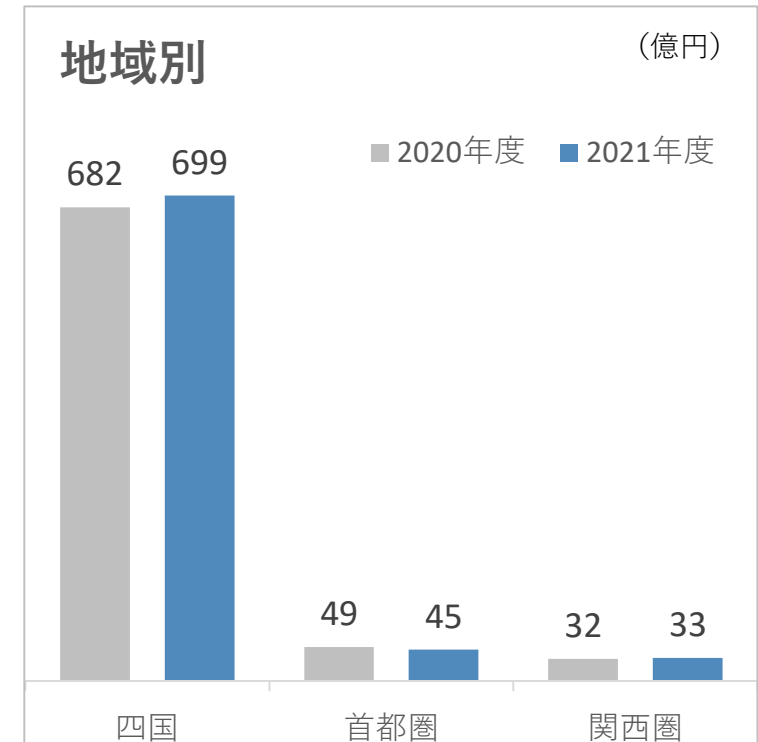
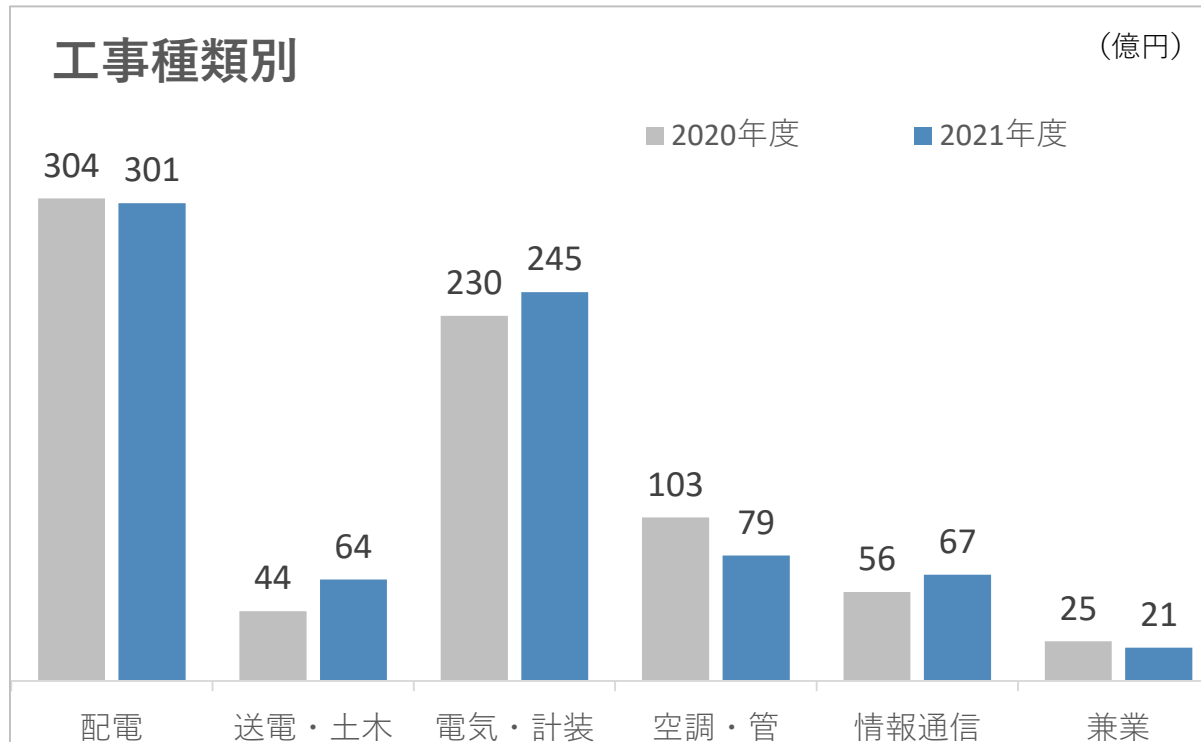


7. 工事種別・地域別 売上の状況:単独

I. 2021年度実績

■ 売上高は、779億円であり、前年度比＋15億円増。

単独業績 (単位：億円)	2020年度	2021年度	前年度比
売上高	764	779	+15



8. 貸借対照表:連結

I. 2021年度実績

連結業績 (単位：億円)		2021年3月末	2022年3月末	増減	主な増減要因
	流動資産	521	503	▲17	未成工事支出金 ▲40
	固定資産	468	461	▲6	
資産合計		989	965	▲24	
	流動負債	334	294	▲40	支払手形・工事未払金等 ▲23 未成工事受入金 ▲23
	固定負債	140	129	▲10	
負債合計		474	423	▲50	
純資産合計※		515	541	+26	当期純利益※ +38 2020年度期末配当 ▲4 2021年度中間配当 ▲5
負債純資産合計		989	965	▲24	
自己資本比率		52.0%	56.1%	+4.1	

※ 純資産は、「非支配株主持分」を含む。

9. キャッシュフロー計算書:連結

I. 2021年度実績

連結業績 (単位：億円)	2020年度	2021年度	2021年度の内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	94	99	税金等調整前当期純利益 58 未成工事支出金の減少 40
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲17	▲15	有形固定資産の取得による支出 ▲13 投資有価証券の取得による支出 ▲20 投資有価証券の売却及び償還による収入 21
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲23	▲25	長期借入れによる収入 18 長期借入金の返済による支出 ▲32 配当金の支払額 ▲10
現金及び現金同等物の増減額	55	57	
現金及び現金同等物の期首残高	77	133	
現金及び現金同等物の期末残高	133	190	

Ⅱ. 2022年度業績予想

■ 連結の業績予想は、増収・減益の見込み。

連結業績 (単位：億円)	2021年度 実績	2022年度 予想	増減額	前年比
売上高	926	930	+3	100.4%
営業利益	54	50	▲4	92.3%
経常利益	61	54	▲7	87.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	35	▲2	92.6%
1株当たり 当期純利益※	240.53円	222.66円	▲17.87円	—

※ 2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。そのため、比較の便宜上、1株当たり当期純利益は現在の株式数に換算した金額を記載しております。

■ 単独の業績予想は、増収・減益の見込み。

単独業績 (単位：億円)	2021年度 実績	2022年度 予想	増減額	前年比
売上高	779	780	+0	100.0%
営業利益	36	33	▲3	89.8%
経常利益	48	40	▲8	83.3%
当期純利益	32	28	▲4	85.7%
1株当たり 当期純利益※	208.05円	178.12円	▲29.93円	—

※ 2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。そのため、比較の便宜上、1株当たり当期純利益は現在の株式数に換算した金額を記載しております。

Ⅲ. 株主還元

1. 株主還元方針

株主還元方針（『中期経営指針2025』より）

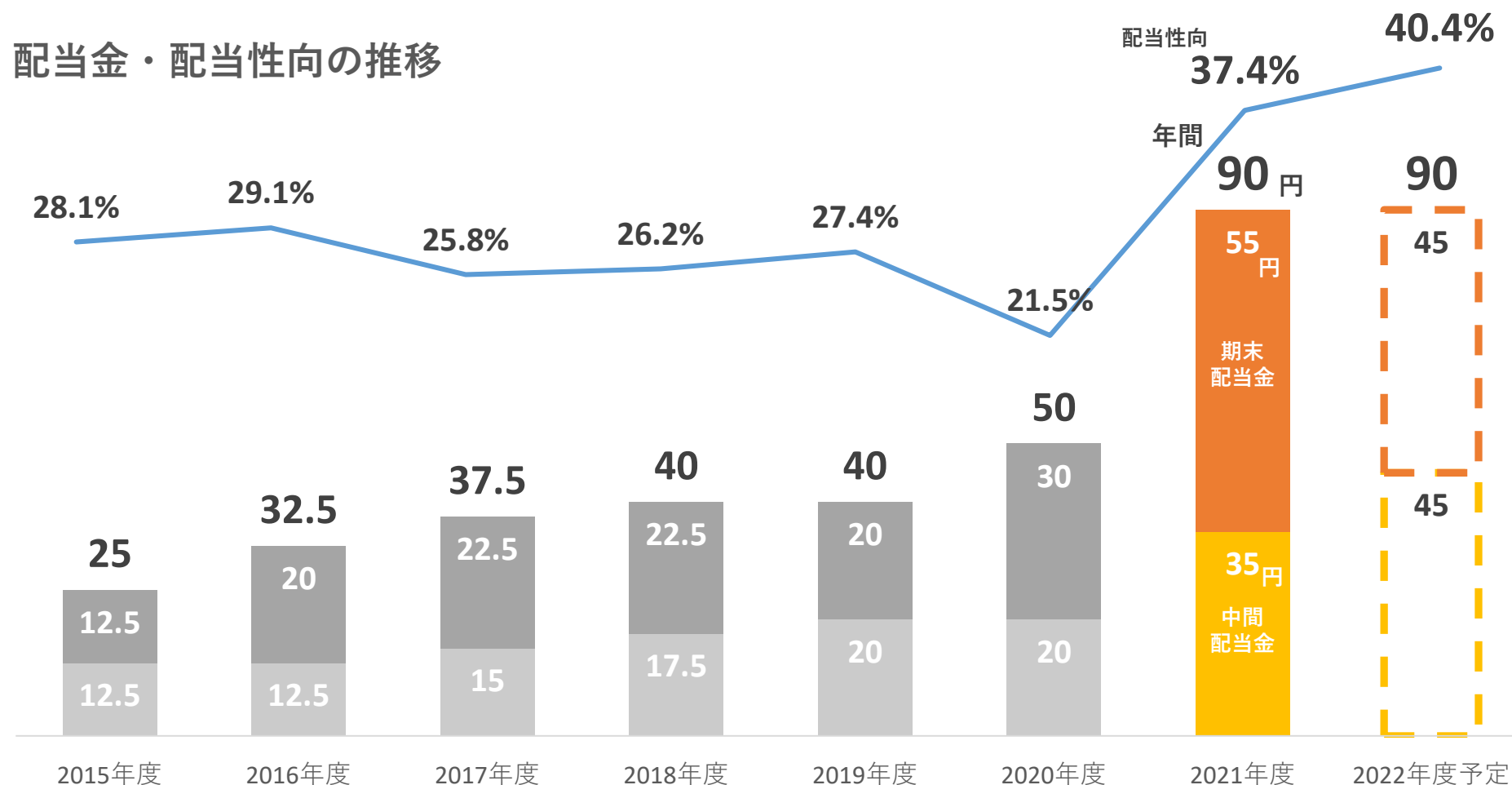
- 事業活動を通じて得られた利益について、株主の皆さまへは、**「連結配当性向30%以上」**を目安に、持続的かつ業績に即した還元を行ってまいります。
- 仮に今後の景気動向等によって一時的に減益となった場合でも、極力、配当水準の維持に努めてまいります。

(※)『中期経営指針2025』における連結ROE目標:8%

2. 配当金・配当性向の推移

- 2021年度の期末配当金については、1株当たり55円(年間90円)を予定。
- 2022年度についても同様の1株当たり年間90円を予定。

配当金・配当性向の推移



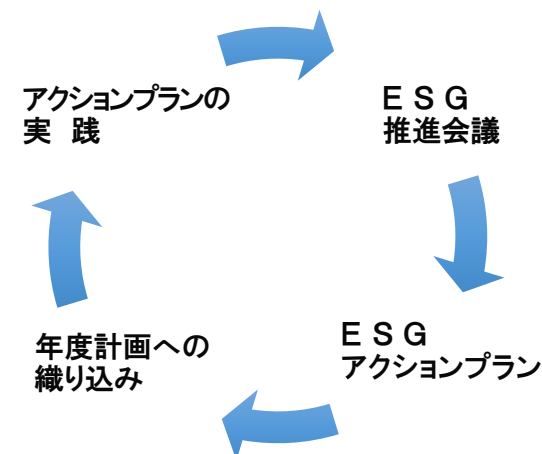
※ 2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施し、2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。そのため、1株当たり配当金は現在の株式数に換算した金額を記載しております。

IV. トピックス

1. トピックス

ESG経営推進体制の整備

昨年10月に、社長を議長とする「ESG推進会議」を設置し、サステナビリティに関する基本方針を制定するとともに、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)の観点から整理したアクションプランを経営のマネジメントサイクルを通じて推進する体制を構築しました。



サステナビリティ方針の制定

当社は、気候変動リスクや環境問題、人口減少・少子高齢化、人権問題など、持続可能性に関するさまざまな社会的課題を踏まえ、昨年11月に「四電工グループ サステナビリティ方針」を制定しました。

サステナビリティ方針は、経営理念を具現化するうえでの変わることのない価値観であって、当社グループが持続的成長を遂げるための前提となる方針です。

同方針は当社ウェブサイトにてご覧いただけます。
<https://www.yondenko.co.jp/sustainability/>



2. トピックス

サステナビリティに関する取り組み事例

商用電気自動車の実証実験に参加

電動化が比較的遅れている商用車両への電気自動車(EV)普及に向けた環境整備に貢献するため、軽商用EVを導入し、実証実験に参加しています。

また、車両の導入に際しては、「SDGsリース『みらい2030®』(寄付型)」スキームを活用し、リース料の一部を、学習機会や生活環境に問題を抱える子供たちへの支援を行うNPO法人への寄付に充てることとしております。



配電工事のDX推進による安全対策強化 および業務効率化

配電工事現場の安全対策を強化し業務を効率化するため、タブレット端末「アクティブパッド」を全社に配備しました。デジタル日めくりポスターやグループチャット機能による危険予知活動のほか、ビデオ通話機能によるリモート安全パトロールなどに活用しております。また、ナビゲーション機能や位置情報共有機能により、平常時はもとより災害時においても迅速な対応につなげてまいります。



就学・就労支援基金への資金拠出

若者の就学支援および地元での雇用創出に向けて、大学生が四国各県の企業に就職した場合に、奨学金返還の一部を支援する県の基金へ資金拠出を行いました。



当社農園のトマトをフードバンクへ 寄贈

当社農園で栽培したトマトをNPO法人のフードバンクとくしま、およびフードバンク香川に寄贈し、県下の支援施設や子ども食堂に配布していただきました。



3. トピックス

グループ総合力の強化に向けて

当社グループでは、将来に向けて持続的な成長を実現するため、グループの総合力強化を目的としたM&A投資を行っております。

至近では、昨年12月に岡山市内の電気設備工事会社である株式会社ベルテックを、また、4月には高知市内の空調設備工事会社である株式会社レイダンを、それぞれグループ企業として迎え入れました。

当社では今後とも、昨年7月に策定した「中期経営指針2025」に基づき、M&Aなどを通じた収益基盤の強化を図ってまいります。



前列右2番目から上田社長（ベルテック）、関谷社長



前列左から濱田会長（レイダン）、関谷社長、濱田社長（レイダン）

当社ウェブサイトを全面リニューアル

当社のウェブサイトである「企業情報サイト」および「採用情報サイト」の両サイトを約8年ぶりに全面リニューアルし、昨年12月に公開を開始しました。

サイトデザインやサイトマップを全面的に見直し、IR情報やサステナビリティ関連情報などを一層充実しました。また、スマートフォン・タブレットでも手軽に閲覧いただけるよう画面の仕様を見直したほか、セキュリティを強化するなど、見た目や内容だけでなく、機能面についても最新化を図りました。



企業情報サイト



採用情報サイト

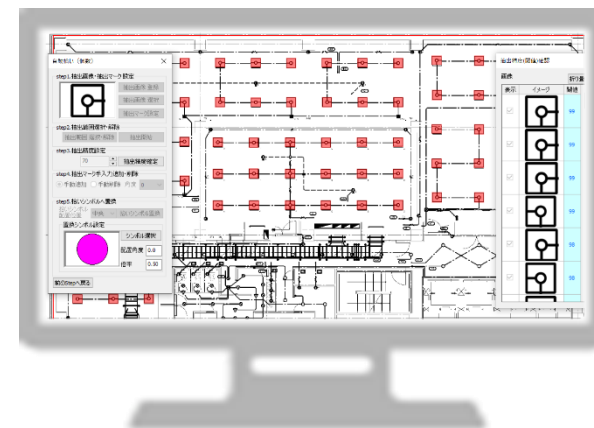
4. トピックス

新商品「CRAFT DX シリーズ」をリリース

当社開発の建築設備業支援ソフト「CRAFT」シリーズの新商品「CRAFT DX(見積積算・拾い・CADソフト)」を2月7日から販売開始しました。

今回リリースした「CRAFT DX」シリーズは「職場環境の変化への対応としてデジタル技術の活用」をメインコンセプトに開発され、各種新技術(画像認識・音声認識機能)を搭載しており、業務効率化に貢献します。

当社では今後も、先進機能を搭載した建築設備業支援ソフトの開発・販売を通じて、建設業界のデジタル化に寄与してまいります。



画像認識（シンボル自動抽出）機能の画面イメージ

- 本資料記載のデータや業績予想等、将来に関する記述については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は種々の要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 四電五

企画部

〒761-8565

香川県高松市花ノ宮町2丁目3番9号

TEL: (087)840-0223

E-mail: hnkikaku@mail.yondenko.co.jp